副理事長　　橋本雄大

１９５９年、ＪＣＩ八女は今とは違う時代背景の中、この地域、この国を想う青年有志の手によって設立されました。移り変わる時代に併せて、幾多の先輩諸兄姉が明るい豊かな社会の実現のためＪＣ運動に取り組まれ、これまでのすべての方々の努力の結晶により、本年度ＪＣＩ八女は創立６５周年の節目を迎えます。急速に変化している時代になり、明るい豊かな社会の意味合いも少しずつ変化している中、私たちＪＣが地域の発展のために能動的に運動を展開していかなければなりません。

まずは、６５周年という節目の年を迎える本年度、先輩諸兄姉から受け継いできた想いを紡ぎ、各部会長と団結し、これまでのＪＣＩ八女の活動を最大限に発信できる記念式典、大懇親会を設営します。そして、現在ではＪＣＩ八女では入会歴５年未満のメンバーが大半を占め、５５周年、６０周年を経験したメンバーも少ない状況の中、周年の式典等を現役のメンバーが経験することで、これから先の７０周年を迎えるための人財の成長へとつながる機会とします。さらに、副理事長として理事長の想いを十分に理解し、メンバー間の室の垣根を越えた交流を行い、変化が著しい時代を担う有志として日頃のＪＣ活動の原点を確認し、多様化する地域のニーズ、メンバーのニーズに耳に傾け、地域に必要とされる団体としての意識を醸成させ、地域を牽引する人財への成長の一助とします。また、災害発生時は社会福祉協議会との連携を行い、迅速かつ率先的に行動するとともに、渉外の分野においても各団体、行政と手を取りあい、強固な絆を築きます。そして、ＪＣＩ八女がこれから先も永続的な組織であり続けるために、積極的に会員拡大を行い同じ志を持つ仲間を迎え、地域のために運動が継続できるように取り組んでいきます。

５年後、１０年後を見据え、私たちＪＣが一人ひとりの想いを力強く結んでいくことで今よりも希望に満ちた笑顔溢れるまちの実現へとつながっていきます。本年度をこれまでの運動と想いを見つめ直す節目とし、時代に即した強固な組織へとＪＣＩ八女を導いていきます。